



鎌倉市本庁舎等整備

市民対話 ワークショップ

第2回 令和3年4月17日(土) 10:00~12:00

まもなく開始します

まちづくり計画部市街地整備課

■市民対話ワークショップ：注意事項

1. ワークショップ中のレコーディング、スクリーンショットなどの録音・撮影はご遠慮ください
2. ワークショップの様子は広報用記録として録画やスクリーンショットの撮影をさせていただきます
3. オリエンテーションや、発表の間は音声をミュートにしてください
4. 対話中お互いの表情がわかるよう、カメラをONにしてください
5. 操作などで困ったことがあれば、チャットで送信してください
6. ワークショップの円滑な進行にご協力をお願いします。ご協力いただけない場合は退出等していただく場合があります
7. 万が一接続が切れてしまった場合は、同じURLから再接続してください。操作方法がわからない場合、こちらにご連絡をお願いします

事務局（鎌倉市まちづくり計画部市街地整備課）連絡先

【電話】 ###-####-#### ※この電話番号は当日のみ有効です。

【メール】 chousya-seibi@city.kamakura.kanagawa.jp

本日の流れ

鎌倉市本庁舎等整備 市民対話ワークショップ

第1部：オリエンテーション 10:00～10:20

進行あいさつ・本日の流れ

- はじめに/5分 (鎌倉市まちづくり計画部市街地整備課)
- 前回のふりかえり/10分 (arg)
- 〈共創〉ワークショップと本日のプログラムについて/5分 (arg)

第2部：グループワーク 10:20～11:30

- 自己紹介・前回のグループ内ふりかえり/10分
- グループ対話・共創1：
2030年、わたしたちにとって新たな本庁舎の役割はどういうものでしょうか/30分
- グループ対話・共創2：
2030年、わたしたちにとって鎌倉市役所所在地はどんな場所であってほしいですか/30分

第3部：共有 11:35～12:00

- 全体発表：3分×5グループ/15分
- 本日のまとめと次回に向けて/5分 (arg)
- おわりに/3分 (鎌倉市まちづくり計画部市街地整備課)
- 記念撮影 ※NGの方は除く

はじめに

前回の振り返り

新たな本庁舎の整備・
鎌倉市役所現在地の利活用
におけるポイントについて

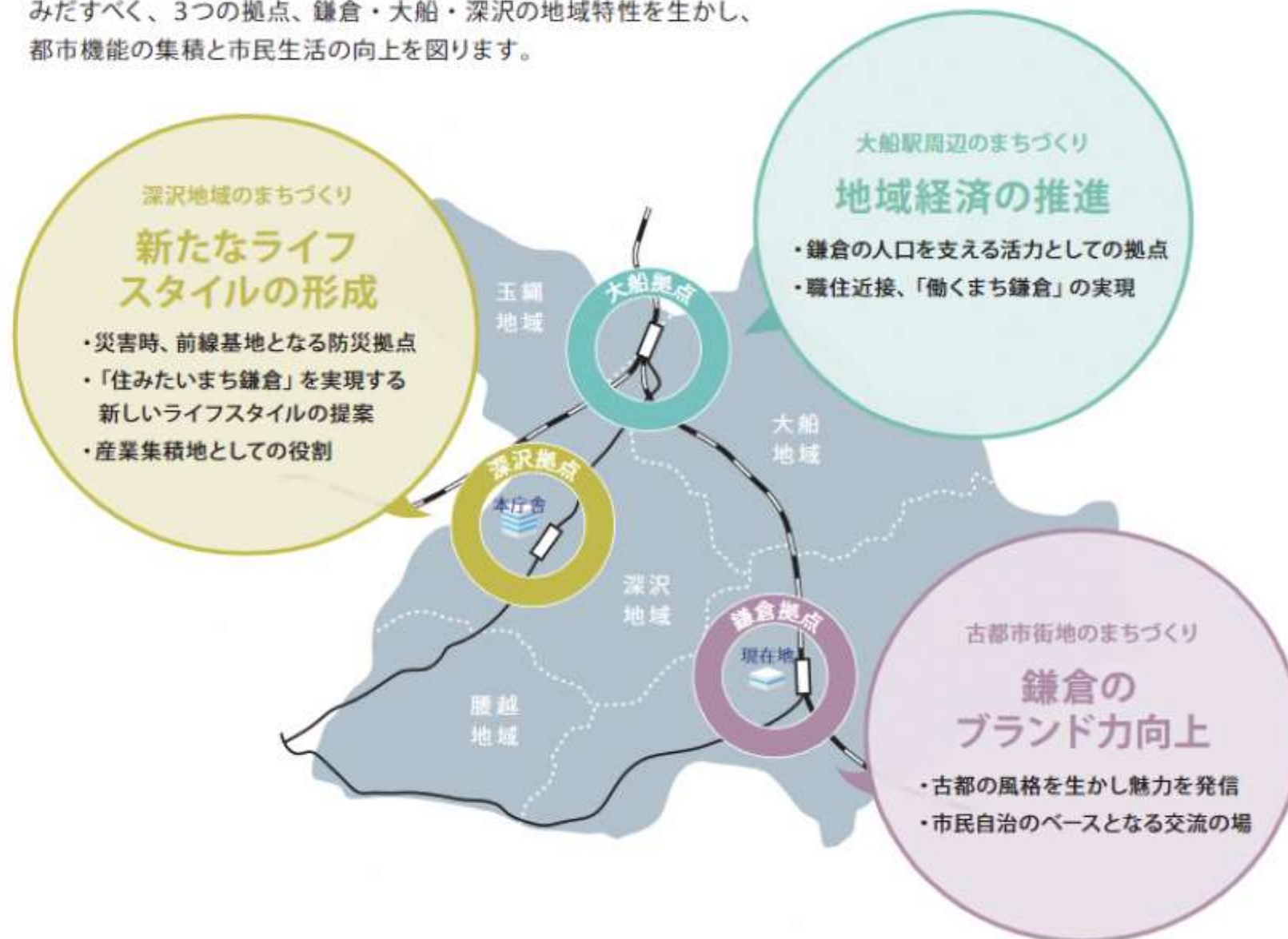
新たな本庁舎の整備

深沢地域整備事業用地(行政施設用地)の
利活用後のイメージ
(具体的な整備計画を現したものではありません。)

新たな本庁舎の整備におけるポイント

本庁舎づくりと鎌倉のまちづくり

鎌倉市全体の生活・文化・経済の向上につながる波及効果を生み出すべく、3つの拠点、鎌倉・大船・深沢の地域特性を生かし、都市機能の集積と市民生活の向上を図ります。



新たな本庁舎の整備におけるポイント



- **基本理念（ビジョン）**

市民のニーズや社会情勢の変化に応えるコンパクトな本庁舎

- **基本方針（6つの要素）**

次ページ参照

- **導入を予定（検討）している機能（本庁舎機能以外）**

- ・ 地域図書館
- ・ 地域学習センター（集会室・ホール等）
- ・ 消防本部（指令センター、消防署等）

- **周辺施設（予定も含む）**

- ・ 湘南モノレール 湘南深沢駅
- ・ 公園・グラウンド・総合体育館（予定）
- ・ 住宅・商業施設（予定）

新たな本庁舎の整備におけるポイント

ビジョンと6つの要素

ビジョン

市民のニーズや社会情勢の変化に応えるコンパクトな本庁舎

- ・機能的で、社会情勢の変化に柔軟に対応できる
- ・質の高い行政サービスを提供する場

1 堅固な建物で 災害時に頼れる

- ・災害時に市民の生命を守る前線基地
- ・発災後に業務継続ができる堅固な建物

災害時には前線基地となる堅固な本庁舎と各地域の行政センターが連携する防災ネットワークを形成し、市全体の防災対応力を高めます。



2 最小限の機能を備え コンパクトで効率的

- ・利用者の利便性を重視
- ・効率的なスペース利用

未来を見据えた柔軟な空間設計を目指します。



3 鎌倉の自然や歴史を感じ、 市民のつながりを生かせる

- ・市固有の自然や歴史を感じられる空間
- ・市民同士がつながる市民活動ネットワークの形成



情報発信のスペースを確保し、市民のつながりを生かせる本庁舎を目指します。

4 人や民間資金を呼び込む

- ・ふらっと立ち寄りたくなる場所
- ・民間活力の導入などにより財政負担を抑制



将来にわたって有効に活用できる本庁舎を目指します。

5 市民に寄り添った対応ができる

- ・学びや交流、子育て、起業支援など多様なニーズに応える
- ・豊かな市民生活の実現につながる場



市民の多種多様なニーズに応えられる場や機能を持った本庁舎を目指します。

6 誰もが利用しやすい

- ・ユニバーサルデザインやバリアフリーの実現
- ・来庁者の多様性に配慮した窓口機能



来庁者の多様性に配慮した窓口を目指します。

基本構想策定後の社会情勢の変化



新たな本庁舎における「これからの行政サービスと働き方」を考える上で重視するポイント（案）

① 様々な災害に対応可能であること

～建物の堅牢さだけでなく感染症のように建物が利用できない場合であっても安心して安全なサービスを受けられること～

② ユニバーサルであること

～誰でも希望する方法で快適にサービスの提供を受けられる環境を整えること～

③ リアルな場の価値をいかすこと

～「リアルな場」だからこそできるサービス・取組に力点を置くこと～

1 堅固な建物で災害時に頼れる本庁舎

2 最小限の機能を備えコンパクトで効率的な本庁舎

3 鎌倉の自然や歴史を感じ、市民のつながりを生かせる本庁舎

4 人や民間資金を呼び込む本庁舎

5 市民に寄り添った対応ができる本庁舎

6 誰もが利用しやすい本庁舎

● 窓口サービスのあり方

原則としてすべての手続きサービス、相談サービスをオンラインで提供可能とするとともに、新庁舎には対面型窓口を設置する

● 職員の働き方

テレワーク可能な職場において希望する職員が実施できる環境を整える

鎌倉市役所現在地の利活用

現庁舎跡地

鎌倉市役所(現在地)の利活用後のイメージ
(具体的な整備計画を現したものではありません。)

利活用の基本方針

●市民サービスの提供・公共施設再編と民間機能の導入による賑わいや憩いの創出

鎌倉駅直近において様々な魅力を発信することで鎌倉のブランド力向上・新たなライフスタイルの提案・「住みたいまち鎌倉」の実現を目指す。

○市民サービスの提供※・公共施設再編

- ・市民サービス機能の維持と鎌倉地域における公共施設の再編による付加価値の創出
- ・市民の相談・手続きのための窓口をコンパクトに整備
→親しみやすく身近な市民サービス(窓口)
- ・ホール(生涯学習センター)、図書館、ミーティングスペースなど、市民の生涯学習、活動の拠点

※ 市民サービスや相談のための窓口を残す(主に現在の本庁舎の1階にある機能)とともに公共施設の再編と相まって、生涯学習、芸術文化、市民活動、多世代交流などの拠点化を目指します。

○民間機能の導入

- ・シェアオフィス、子育て施設などの導入による働く環境づくり
- 既存の歴史的遺産・自然環境に恵まれたこのまちで、働き、暮らすという新たなライフスタイルの定着



○賑わいや憩いの創出

鎌倉駅直近において様々な魅力を発信することで鎌倉のブランド力向上・新たなライフスタイルの提案・「住みたいまち鎌倉」の実現を目指す。

- ・オープンスペースの活用により、市民や来訪者の憩いの場、子どもから高齢者までの世代間交流等の場を整備
→多世代間交流・地域活性化・魅力発信

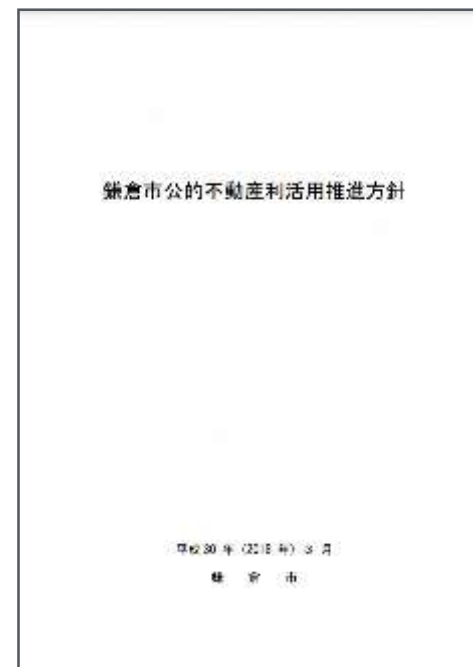
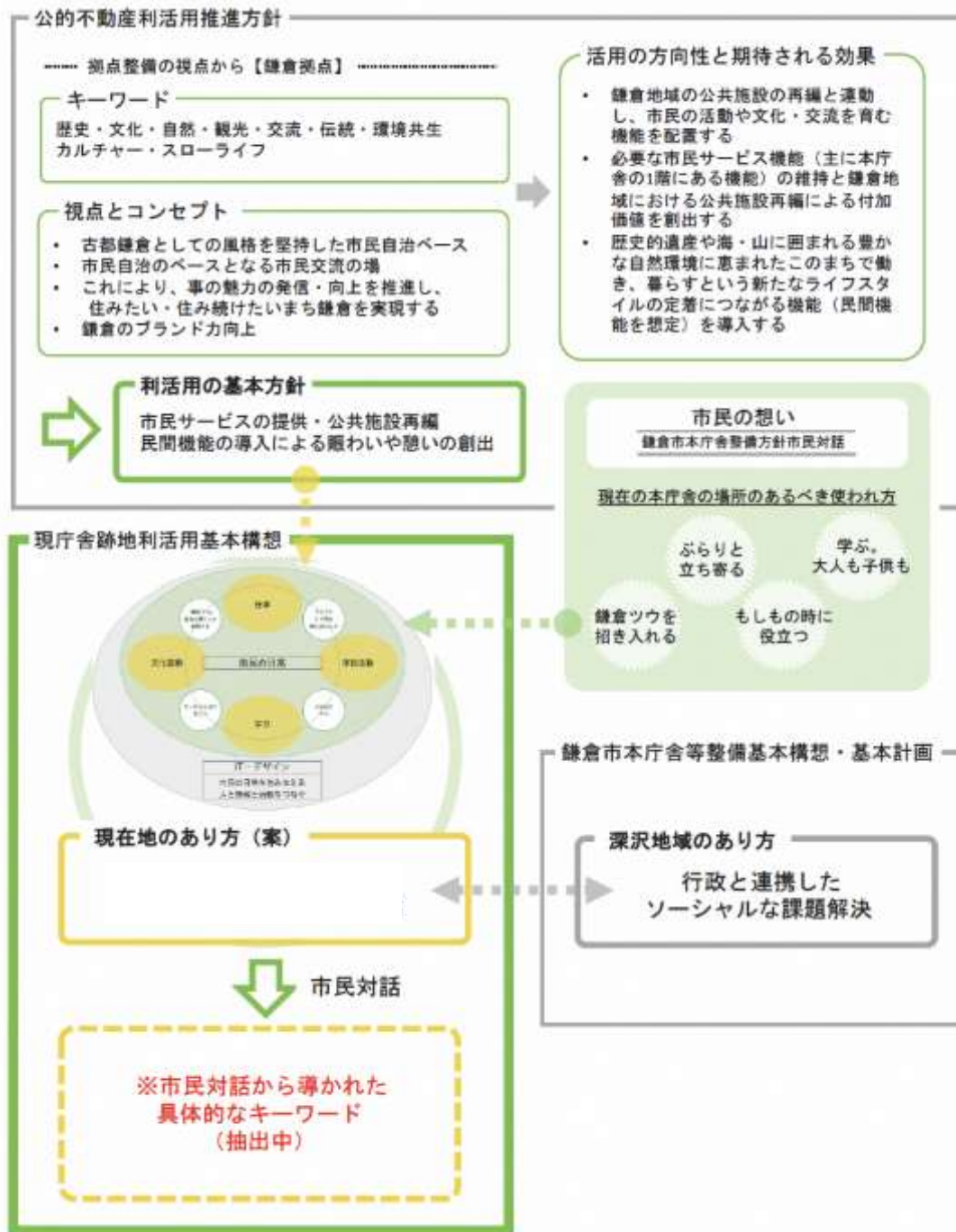
図 利活用の効果のイメージ

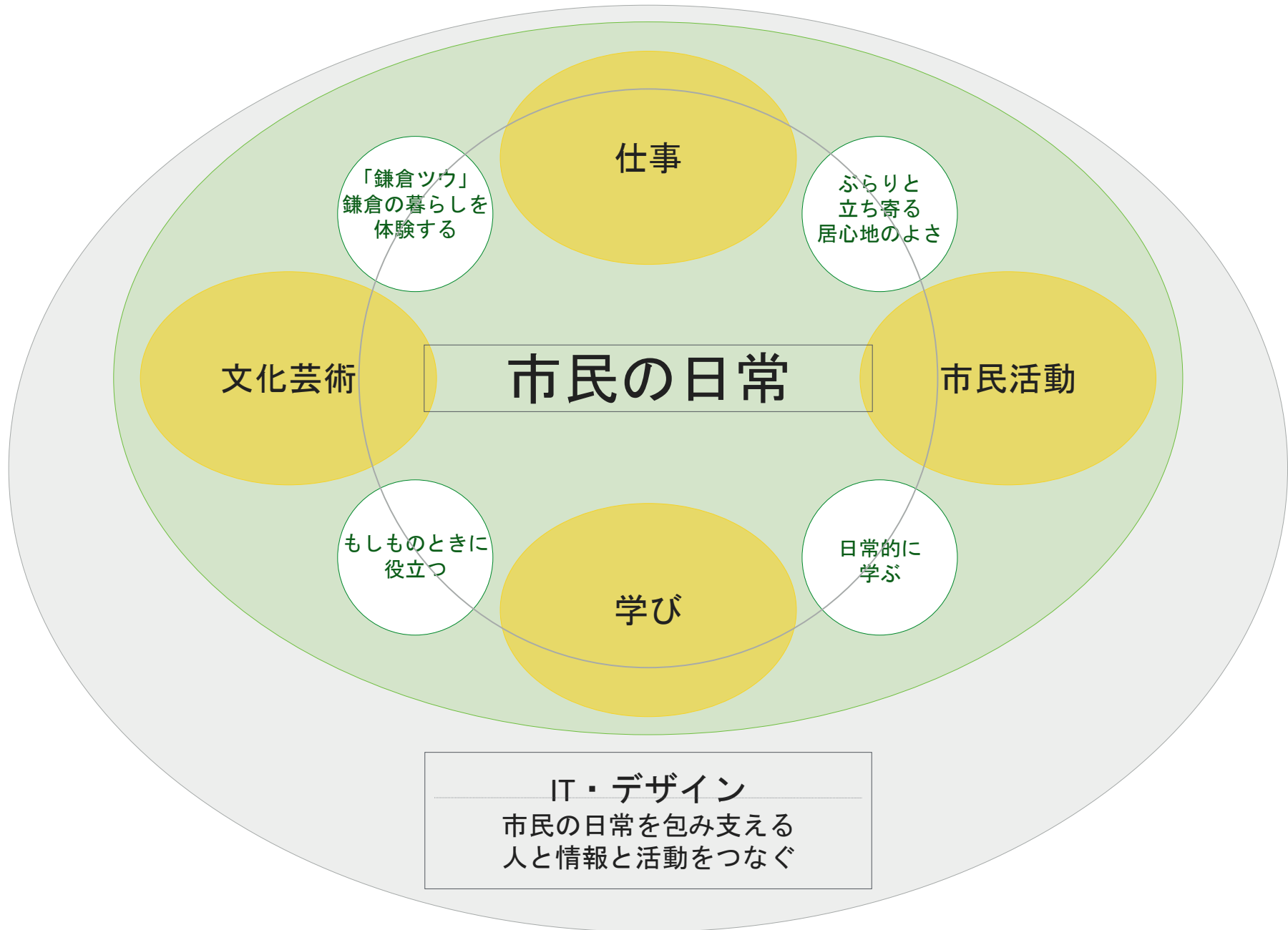
※あくまでイメージ図であり、実際の整備計画を表したものではありません。

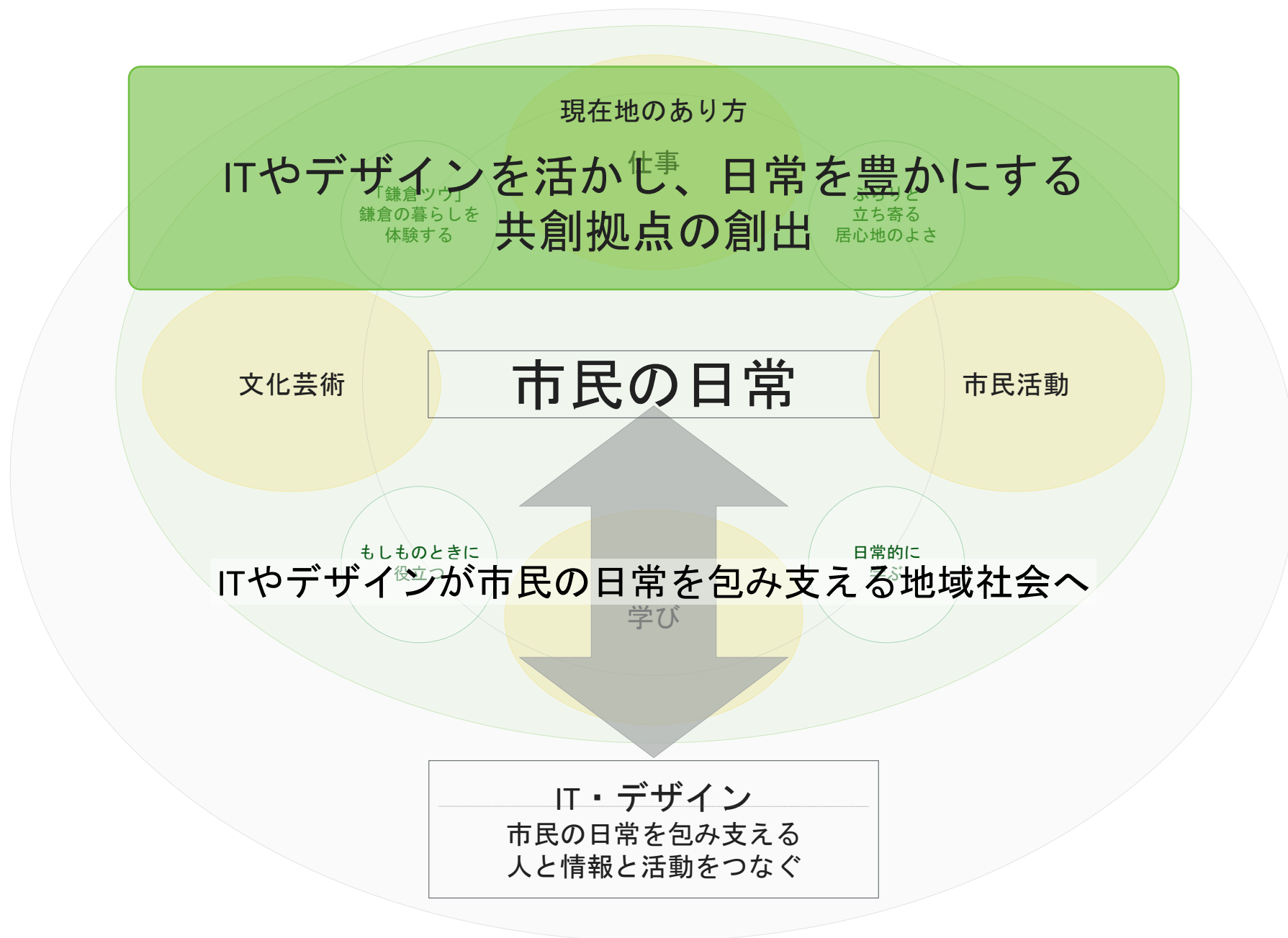
■ 鎌倉地域・鎌倉拠点・現在地に関するポイントの整理

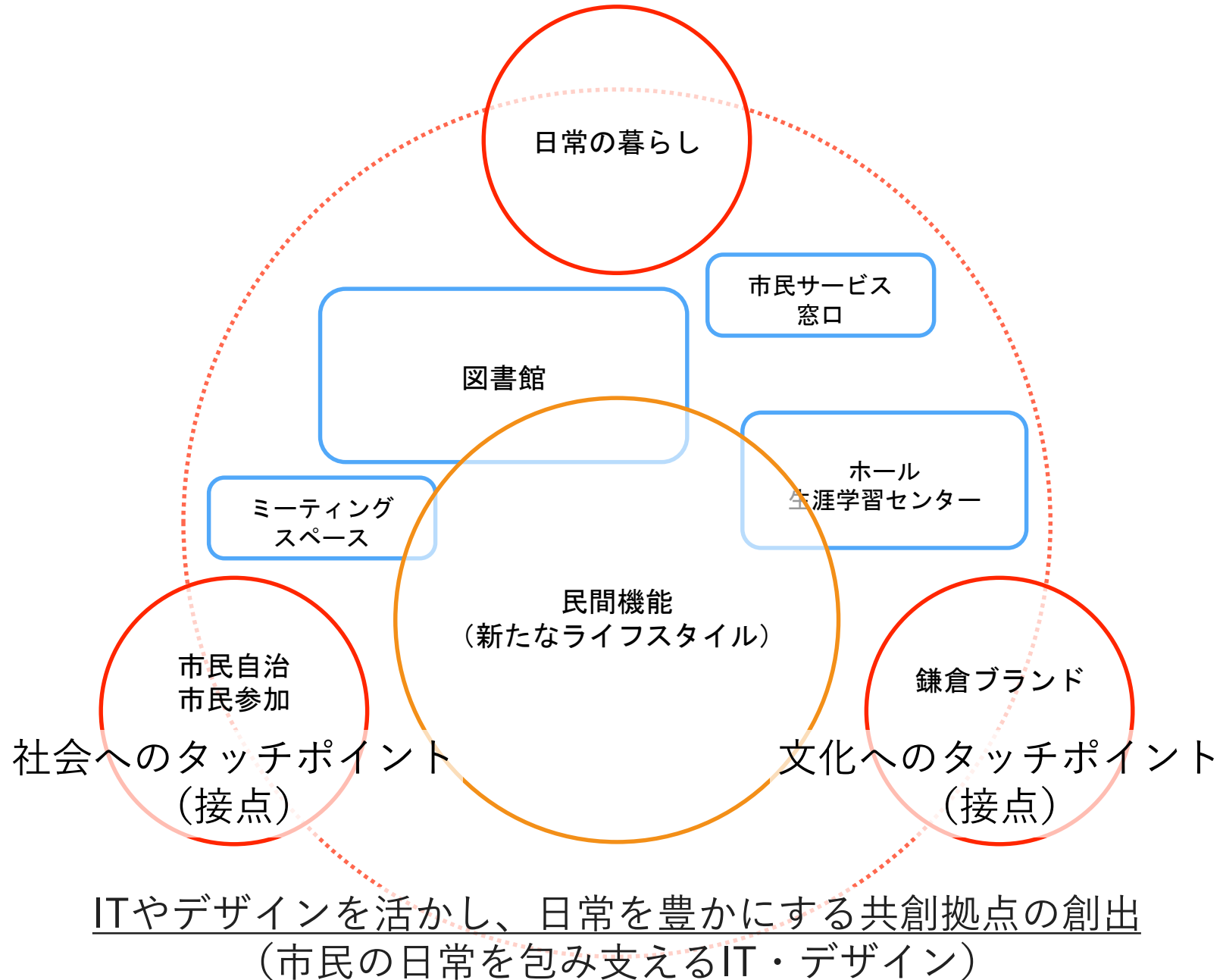
鎌倉地域 キーワード	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">歴史</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">文化</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自然</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">観光</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">交流</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">伝統</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">環境共生</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">カルチャー</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">スローライフ</div> </div>
鎌倉拠点 視点とコンセプト	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市民自治のベース</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">鎌倉のブランド向上</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「住みたいまち鎌倉」の実現</div> </div>
現在地（現庁舎跡地） 方向性	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">市民サービスの提供 公共施設再編</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">民間機能の導入</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">賑わいや憩いの創出</div> </div>
市民の思い 「現在の本庁舎の場所の あるべき使われ方とは？」	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 20px; text-align: center; width: 25%;"> ぶらりと 立ち寄る 居心地のよさ </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 20px; text-align: center; width: 25%;"> 日常的に 学ぶ </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 20px; text-align: center; width: 25%;"> 「鎌倉ツウ」 鎌倉の暮らしを 体験する </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 20px; text-align: center; width: 25%;"> もしものときに 役立つ </div> </div>

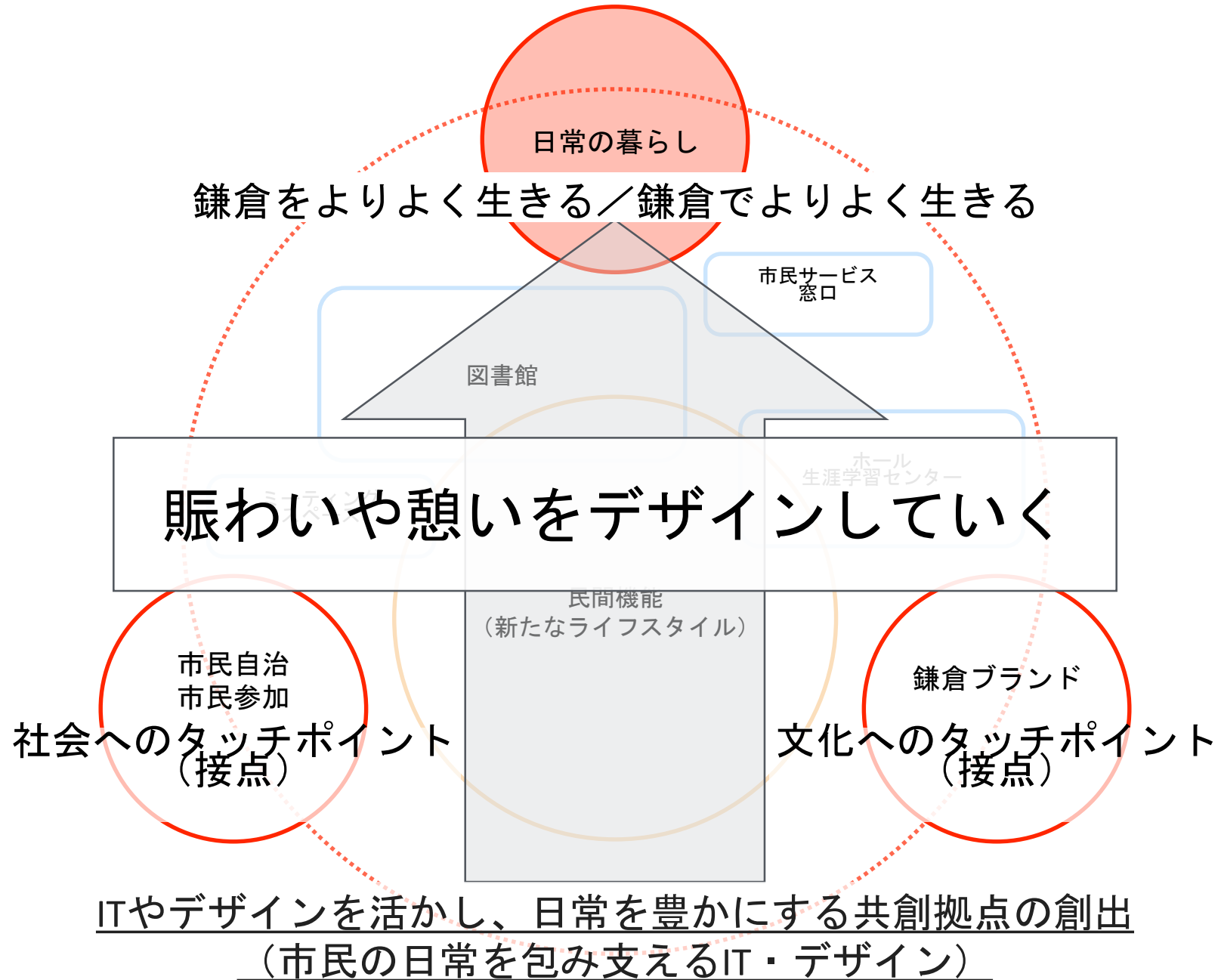
■本事業の方向性としての基本理念、基本方針関係図（案）











第1回レポート



鎌倉市本庁舎等整備 市民対話 ワークショップ 第1回

◆開催日：令和3年（2021年）3月20日（土）

◆開催形式：オンライン

◆参加人数：32名

◆概要：グループにわかれ、新たな本庁舎と、鎌倉市役所
現在地の2つのテーマに関して対話を実施しました



対話終了後のフォトセッションの様子



市民に寄り添う庁舎

- 市民活動をサポートするという役割
- まずは市民の命と暮らしを守るのが自治体の役割
- コロナでオンライン化が進めば、多くの人は市役所の本庁舎に出かける必要がなくなるのでは
- 役所には事務手続きでしか訪問しない。オンラインサービスの充実があれば便利で、ほぼ訪問する機会はなくなると思う
- デジタル化を推進しながらも、対応できない市民も安心して行政サービスを受けられることをサポートする役割
- 基本的には行政手続等はデジタル・オンラインで完結する方向を望んでいる。職員にとって満足度の高い職場環境を提供することで市民へのサービス向上にもつながる
- 職員の働きやすさと生産性の向上が市民に対するサービスの向上につながると思う
- 市民のコミュニケーションハブになる場所。カフェや広場、託児所などが併設されていて、手続きの用事がなくてもその場を訪れたい場所
- より「人でなければならぬ、対面の価値」を活かすような方向が望ましい
- 災害時にも頼りになる庁舎

- 防災面では、消防、警察、自衛隊他、人員や車両、ヘリコプターなどが集まれる拠点でもあってほしい

深沢地域とのつながり

- 様々な世代が集える地域となり、そこに市役所があるという存在であってほしい
- 深沢地区に本庁舎があるかどうかより、伴って整備されるであろう生活と直結する施設ができるかがポイント
- 公園みたいに緑豊かな空間

庁舎における交流

- 市民同士がつながるきっかけをつくる役割
- 市民の交流拠点となる庁舎。賑わいのある庁舎
- みんなが気軽に集まる場所があって欲しい
- イベントを通してみんなが繋がれる
- 市職員と市民、あるいは市長や議会と市民の交流が大切
- 学校との連携を行えると良いのではないかと。幅広い年代が交流できる場を設けられると良い
- 中学生や高校生、大学生などが力を発揮する場やイベントがあることで交流が広がる



鎌倉の暮らし

- 鎌倉駅周辺の市民がこれまでと変わらず、もしくはこれまで以上のサービスを受けられる場所
- 旧鎌倉の方々が不便にならないようにする
- 最低限必要の行政手続き・サービス等はキオスク端末^(※)などで対応。対面が必要な場合はコンシェルジュ的な方、あるいは専門家とのビデオ対話が可能^(※) 公共施設等に設置される情報端末
- 交流が重要な要素となっていく
- 仕事でも遊びでもふらりと行って一日過ごせる。交流の生まれる空間
- 気軽に立ち寄れ、そこで世代問わずに色々なことが体験でき、交流が生まれる場所であってほしい
- いろいろな世代の人達、市外から来る人達と市民との交流の空間
- いまは気軽に休めるような場所がなく、気軽に立ち寄って、そこで新たな目的が見つけれられるような仕掛けがあると良い
- 散歩しに行きたくなるような場所（気軽に立ち寄れる楽しい空間）
- いろいろな世代の市民が自由に過ごせるスペースであってほしい
- 市のいわゆる一等地なので、市民が繋がれて、かつ地域で経済も回るような場所
- 広い敷地を活かしたイベントスペース

- 鎌倉駅を境に観光客が少ないため、地域の方のために特化した設備があると嬉しい。例えば図書館の拡充など
- 鎌倉に住んでいる人が楽しめる場所であることで、観光の人も居心地のいい場所となる

鎌倉の仕事と学び

- ミーティングなどの集まれる場所が少ないのでみんなが使えるスペースとして再生して欲しい
- みんなの学び合いの様子が、どんなことをしてるのかが見えたり感じられるような、生涯学習が行われているとよい
- 鎌倉市内には子どもが集う場所がない。将来を担う世代が、学校以外の場所で出会い、交流できる場が必要
- 子育ての支援ができるような場を作って、子供を育てながらでも働きやすいまちづくり
- 図書館の充実

鎌倉の歴史・文化とブランド

- 子どもたちや新しく移住してきた人たちが鎌倉の歴史と文化を知れる場所
- 鎌倉の市民・歴史との繋がりを感ぜられる場所であってほしい
- 鎌倉の多様な自然、文化、芸術などを知り、いろいろな地域に足を延ばしたくなるような情報拠点化
- 鎌倉の歴史・文化とブランドの象徴であってほしい
- 「道の駅」的なポジション

〈共創〉 ワークショップ
プログラムについて

「周知・意見聴取」といった1方向のコミュニケーションから **〈共創〉** ネットワーク型の市民参画へ



〈共創〉 に取り組んできた鎌倉市だからこそできる
地域を「共につくる」ワークショップの実践

※共創とは：ともに考え、ともに創ること

1. 協働・参加型のデザイン

鎌倉市民や鎌倉市に関係する**人びとの協働・参画によって**、鎌倉市の日常を支える公共施設、公共空間のあり方を行政と市民と事業者が**一体**となって検討できる場を、**育てていきます**

2. わたしたちごと化

鎌倉市民や鎌倉市に関係する人びとが主体的に関わり、自分たちのまち、自分たちの地域の公共施設や公共空間をどのようにつくり、運営し、利用していくのかについて、**まずは「自分ごと（わたしごと）」として考え、そこからさらに「わたしたちごと」として捉えていきます**

3. 地域の可能性と課題を再発見する

市民協働によって、ウィズコロナ/ポストコロナ
といった新しい時代における、**鎌倉市の日常／
鎌倉市らしさを見つめ直し、鎌倉市の可能性と
課題を再発見します**

- ▶ 1回の発言は1分までにしよう

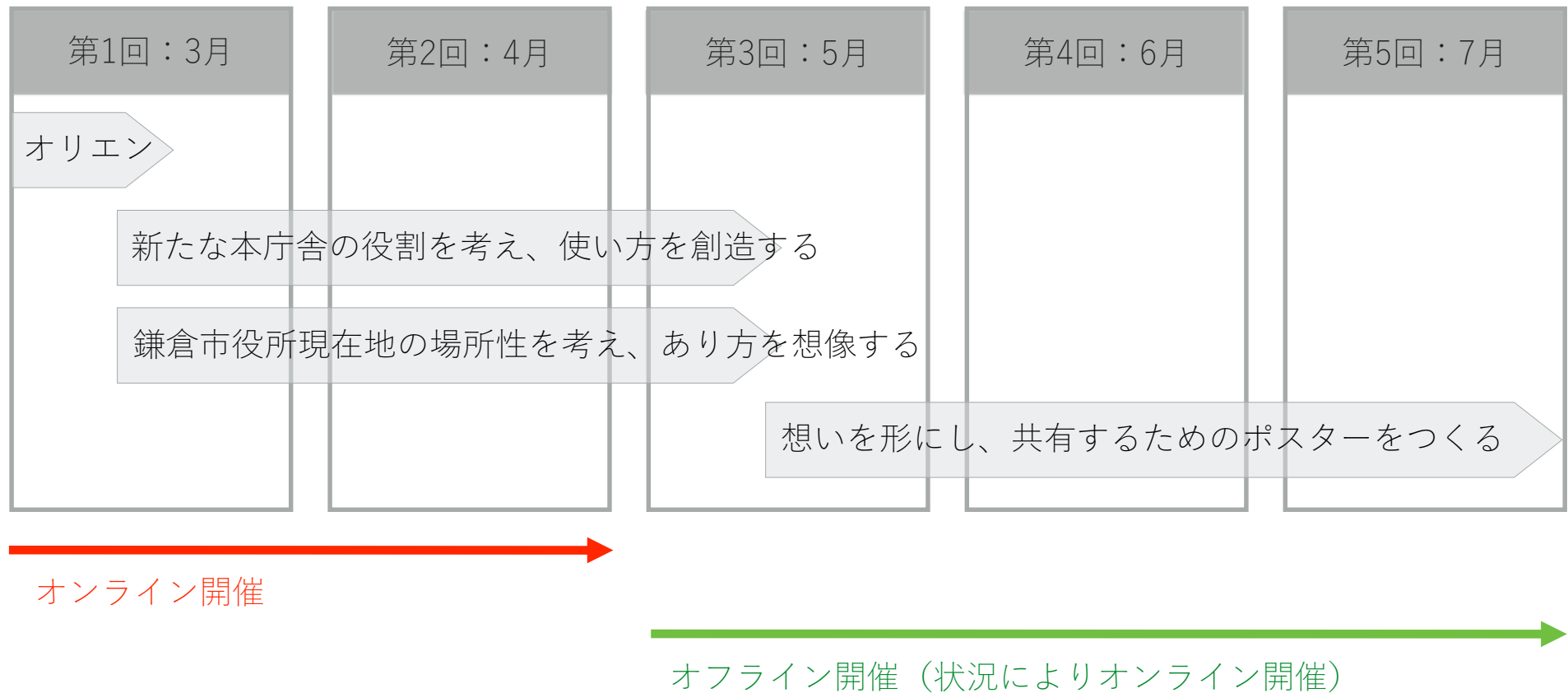
- ▶ お互いの話を聴こう

- ▶ お互いの発言に対する否定・遮りはしない

- ▶ 発言はチャットに書き込もう

- ▶ 答えを出さなくても大丈夫、問いを発見しよう

■市民対話 ワークショップ：全5回の流れ



市民が持続的にプロセスに参加することができる機会を創出し、こうした市民の参加を、実践としての「共創」へとつないでいく

本日のグループワークについて

第1部：オリエンテーション 10:00～10:20

進行あいさつ・本日の流れ

- はじめに/5分 (鎌倉市まちづくり計画部市街地整備課)
- 前回のふりかえり/10分 (arg)
- 〈共創〉ワークショップと本日のプログラムについて/5分 (arg)

第2部：グループワーク 10:20～11:30

- 自己紹介・前回のグループ内ふりかえり/10分
- グループ対話・共創1：
2030年、わたしたちにとって新たな本庁舎の役割はどういうものでしょうか/30分
- グループ対話・共創2：
2030年、わたしたちにとって鎌倉市役所所在地はどんな場所であってほしいですか/30分

第3部：共有 11:35～12:00

- 全体発表：3分×5グループ/15分
- 本日のまとめと次回に向けて/5分 (arg)
- おわりに/3分 (鎌倉市まちづくり計画部市街地整備課)
- 記念撮影 ※NGの方は除く

第2部：グループワーク 10:20～11:30

- 自己紹介・前回のグループ内ふりかえり/10分
- グループ対話・共創1：
2030年、わたしたちにとって新たな本庁舎の役割はどのようなものでしょうか/25分
- グループ対話・共創2：
2030年、わたしたちにとって鎌倉市役所所在地はどんな場所であってほしいですか/25分

1

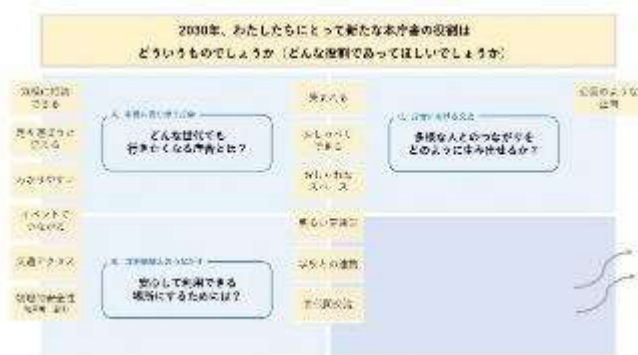
前回の対話を素にした
ワークシートを共有する

2

ワークシートを基に
グループ内で対話共創する

3

「わたしたちにとって」
という観点から
ワークシートを編集する



〈対話・共創1 テーマ〉

2030年、わたしたちにとって新たな本庁舎の役割は
どのようなものでしょうか（どんな役割であってほしいでしょうか）

〈対話・共創1 キーワード〉

A

市民に寄り添う
庁舎

B

深沢地域
とのつながり

C

庁舎における
交流

〈対話・共創2 テーマ〉

2030年、わたしたちにとって鎌倉市役所所在地は
どんな場所であってほしいですか

〈対話・共創2 キーワード〉

A

鎌倉の
暮らし

B

鎌倉の
仕事と学び

C

鎌倉の
歴史・文化
とブランド



鎌倉市本庁舎等整備

市民対話 ワークショップ

第3回 令和3年5月16日(日) 10:00~12:00

鎌倉市深沢学習センター ホール

(新型コロナウイルス感染状況等により変更となる場合があります)

まちづくり計画部市街地整備課